

## ホンダモビリティランド「サステナビリティ&エコノミーレポート2026」発行

ホンダモビリティランド株式会社(本社：三重県鈴鹿市、代表取締役社長：斎藤毅)は、鈴鹿サーキットで開催した「FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIX 2026」およびモビリティリゾートもてぎにおける「生物多様性を中心とした持続可能な取り組み」をまとめた「サステナビリティ&エコノミーレポート2026」を発行いたしました。

本レポートでは、モータースポーツイベントを通じた環境・社会・経済への価値創出に加え、地域社会との共創、生物多様性保全、脱炭素、資源循環など、持続可能な未来に向けた当社の取り組みと成果をご紹介します。

### 「サステナビリティ&エコノミーレポート2026」の主な概要

#### <Formula 1 Japanese Grand Prix>

- ・ **Formula 1 Japanese Grand Prixの経済波及効果は1,146億円：**  
F1日本グランプリ開催による全国への経済波及効果を算出。観光・宿泊・交通・地域消費などを通じた地域経済への貢献を可視化。
- ・ **Scope1・2カーボンニュートラルを継続達成：**  
再生可能エネルギーの活用やHVO燃料導入により、F1日本グランプリ会場運営におけるScope1・2のカーボンニュートラルを継続。
- ・ **資源循環率46.8%まで向上し、使い捨てプラスチック提供ゼロを継続：**  
リターナブル容器や分別回収の取り組みを推進し、循環型イベント運営を実践。
- ・ **国際イベントを通じた地域・社会との共創を推進：**  
余剰食品寄付、子ども招待、教育機関との連携など、多様なステークホルダーとともに持続可能な地域社会へ貢献。

#### <モビリティリゾートもてぎ(栃木県茂木町)>

- ・ **人と自然とモビリティが共生し、循環による持続可能な価値の創造：**  
地域や教育機関と連携し、森林保全活動や自然環境に関する体験機会を提供するなど、人と自然とモビリティの共生に向けた活動を推進
- ・ **国際イベントでの生物多様性保全活動を推進：**  
トライアル世界選手権において、ライダーと連携した森林保全活動として植樹を実施し、スポーツを通じた環境保護の啓発を推進。

■ 本レポートは当社ウェブサイトよりご覧いただけます：

<https://www.honda-ml.co.jp/company/sustainability/pdf/report.pdf>

### 2026年に開催したモータースポーツイベントにおける主なトピックス

#### <鈴鹿サーキット>

- ・ Formula 1 Promoter Awards 2025において、ESG部門最優秀賞「ESG Changemaker presented by Allwyn」を受賞
- ・ 観光庁、文化庁、スポーツ庁が主催する「スポーツ文化ツーリズムアワード2025」において、「スポーツ文化ツーリズム賞」を受賞
- ・ 世界観光機関(UN Tourism)とFIAが創設した「1st UN Tourism Awards」において、「最も持続可能なスポーツイベント」部門の特別賞を受賞
- ・ 鈴鹿8時間耐久ロードレースにおいて、ル・マンと連携し創設された「Le Mans Suzuka Positive Award」を開催し、参戦チームのサステナビリティ活動を促進
- ・ 鈴鹿8時間耐久ロードレースの参戦チームや行政と連携した「バイクであいたいパレード」を共催し、交通安全啓発と地域活性化に貢献

#### <モビリティリゾートもてぎ>

- ・ 生物多様性を高める森林保全活動が評価され、「Sports Positive Awards 2026」においてBiodiversity Project部門のファイナリストに選出

ホンダモビリティランド株式会社は、鈴鹿サーキットおよびモビリティリゾートもてぎを通じて、環境・社会・経済価値の創出に取り組んでいます。今後も地域社会との共創を推進し、人と自然とモビリティが共生する持続可能な未来の実現に向けて挑戦を続けてまいります。